



緑豊かな 風格ある 景観の創出

東京都都市計画審議会に
提出された計画書(22.2.9)



明治神宮外苑地区が再開発されようとしている。樹齢100年級の大木を含む千本近い樹木を伐採し、商業施設やオフィスが入る、高さ約200メートルの複合ビルなどを建てる計画が進められる。100年ほど前、国民からの寄付金と献木によってできた歴史ある場所を壊す。新国立競技場建設に端を発した再開発が更に続くわけだが、計画書には、この再開発によって緑豊かな風格ある景観を作る、とある。木を伐採して緑を豊かにする、どういうつもりなのか。

戦争を起こしたくない という願いのために
起こる前に 起こさないように想いをめぐらす
それは 銃を持って立った人間より
価値の低いことでしょうか!?

主人公の青年・クリロ
坂口尚 著作の漫画『石の花(復刊第5巻)』(22.2)

ナチスドイツのユーゴスラビア侵攻で故郷を追われた青年・クリロが、抵抗活動を行うバルチザンに参加しながら戦火を生き抜く漫画作品が、今年初めに復刊された。終戦直後、「きみは勇敢だった」と称賛する軍司令部に対して、こう述べた。今回のウクライナ侵攻を受けて、日本でも「戦争反対」と言っている声が無意味だ」と嘲笑する声が聞こえたし、非核三原則の見直しや核軍備を議論したがる為政者もいる。起こさないようにする、に立ち返りもせず。



「言葉狩り」という言葉が
うまいことでできているなど思うのは、
「言葉狩りには困っている」といった
発言をしている側が、弱者であり
被害者に見えるところです。

酒井順子 エッセイスト
著書『うまれることば、しぬことば』(22.2)

発言内容を指摘されると、こんなことも言えなくなってしまうのか、と嘆く人がいる。あたかも、近頃は言論の自由が狭められ、窮屈になってしまったと言いたいようだが、その手の発言は、これまでも見逃されてきただけなのかもしれない。指摘に対して、「言葉狩りだ」と返すと、弱い立場を装える。傍若無人に乱暴な言葉をぶつけ、相手を痛めつけてきた側が、「言葉狩り」という言葉を使って巧妙に逃げている場面を、とにかくあちこちで見かける。

お元気ですか。
夏休みまであとひと
ふんばり。ファイト!
今回はいつもと
パターンを変えて
お届けします。

今日 拾った 言葉たち



暮しの手帖 18

初夏2022より
(裏面も)

世の中に溢れる言葉に
ふと立ち止まり、
そこに映る
「今」を考えます。

文・武田砂鉄

「誰かを殺したい」
と口にする人がいたら、
臨床現場では
「助けて、と言っている」
と受け取ります。

長谷川博一 公認心理師
朝日新聞(22.3.3)



大阪の心療内科クリニックで起きた放火事件など、無関係な他人を巻き添えにして命を絶とうとすることを「拡大自殺」と呼ぶ向きがある。しかし、安易に使うべきではないと言う。ある状態をひとつの言葉に押し込めると、外にいる人は「自分とは違う」と安心する。だが、それぞれの背景や過程が見えなくなる。殺意を自分に向けるか、他者に向けるかは表裏一体なのだから、必要なのは「助けて」を聞き取ること。「一人で勝手に死ねよ」は解決を遠ざける。

たけだ・さてつ 1982年生まれ。ライター。著書『紋切型社会』でBunkamuraドゥマゴ文学賞受賞。近著に『マチズモを削り取れ』。政治からカルチャーまで、「言葉」を軸に幅広く論考する。



「暮しの手帖」の記事がとても心にひびいて、
今回は全面それにしました。みなさんの
心にも届いたらうれしいです。
8月号には養教部のアンケートも入れます。
ご協力下さい。良い夏休みをお過ごし下さいませ。

文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)





絵 ヨシタケシンスケ

みらいめがね

第 37 回

「世界とつながる」

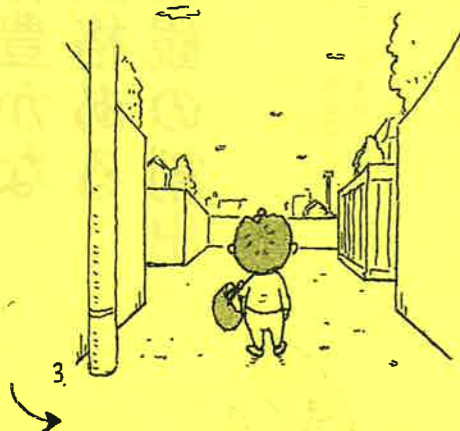
今日オレは、ひとつ大きく
な、たのかもしれない。



母親に頼まれて、近所のスーパー
までおっかいに行、たのだ。
しかも、た、たひとりぞ。



世界は思、ていたよりも
ず、と広く、空は青かった。



身の危険を感じたとき、
初めて自分が「生きている」ことが
あ、た。



世の無情を目に、



ひとのやさしさにふれた。



自分とは人間とは、
世界とは、未来とは、
すこ、ただ、あ、た、た気がする。



オレの旅は、
は、いま、たばかりだ。

